

2011/12 Weekly Bulletin



国際ロータリー 第2790地区 第3分区分B

市原ロータリークラブ会報



第 2,334 回 例会 2011 年 11 月 30 日 (水) SAA : 白鳥会員 会報担当: 平野 会員
 例会場: 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

☆ 点 鐘 市原 RC 会長 齊藤 榮志 ☆ ソング これぞロータリー

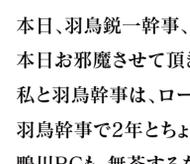
お客様 鴨川 RC. 会長: 佐藤信也様 会長エレクト: 佐藤 多恵子様 幹事: 羽鳥鋭一様

会長挨拶 市原 RC 会長 齊藤 榮志

5 exchange students from Malaysia Petaling Jaya, Miss Than Sue Gin, Miss Lim Hui Lei, Mr. Ariff Jazzmi Azmi, Mr. Hamish Mark John, Mr. Cheng Duo-Yan, well come to Ichihara of Japan. And we extend to your Attendance to regular meeting of Ichihara Rotary Club. It has been 6 days since you came to Japan. So, you got a lot of experience that's fun, meaningful, and sometimes bitter one, already. Regrettably, you should leave Japan at 4 days later. I wish you will bring a lot of good and beneficial memories for your future to Malaysia. And also I wish if possible, you will visit to Japan once again. Thank you.

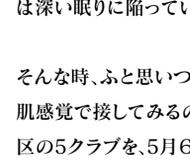
今回の学生交換事業を行うにあたりまして、宮地国際奉仕委員長、篠田国際交流小委員会委員長を初め多くの会員の皆様、とりわけホストファミリー務めていただいています、箕輪会員、津留会員、平野会員にはご多忙の中、ロータリーの寛容の精神をもってご協力いただきまして、会長として心より感謝申し上げます。時代の変化とともに本事業も幾ばくかの問題を抱え、一部の会員の多大なるご負担によりなんとか継続している状態ですが、青少年の健全育成、国際交流、また姉妹クラブとの交流などという面から、存在意義が全く失われたと言う訳でもないと思われしますので、問題の改善が見出せるのならば継続していく努力をしていかなければならないと考えております。

幹事報告 幹事 山本 順也



市原ロータリークラブのホームページにPJ交換学生の日々の写真を掲載しています。是非チェックしてみてください。

お客様挨拶



鴨川 R.C 会長 佐藤 信也 様

メイクアップ時挨拶

皆さん、初めまして、こんにちは。

貴重なお時間を頂きました事、深く感謝致します。

私は鴨川RCの会長を、仰せつかっております、佐藤信也と申します。本日、羽鳥鋭一幹事、佐藤多恵子会長エレクトと共に、本日お邪魔させて頂きました。

私と羽鳥幹事は、ロータリー歴がまだ浅く、私で3年とちよつと、羽鳥幹事で2年とちよつとになります。

鴨川RCも、無茶するなと思いましたが、イヤとは言わないロータリアンとして、お引き受けする事としました。

お引き受けするにあたり、ロータリーの資料を読み漁り、又、PETを始め、各種セミナーに出席して、勉強してみましたがいかにせん、難しい事ばかりで、なかなか頭に入らず、時には深い眠りに陥っている事もありました。

そんな時、ふと思いついて、他のクラブの例会に出席してみても、肌感覚で接してみるのも、勉強になるのではないかと思ひ、羽鳥幹事と連れだって、第5分区分の5クラブを、5月6月にかけてメイクアップしました。各クラブ毎にカラーがあって、大変興味深く、又、参考になる事がありました。

第5分区分は、裾南、館山、館山ベイ、千倉、鴨川、勝浦と6クラブあり、房総半島の突端を、グルリと網羅している地域となります。しかしながら、人口の少ない田舎のエリアとなりますので、第5分区分以外の、人口の多い都市や都会のクラブの例会に、出席してみたいと思う様になり、何か口実があると良いかと、思っておりました。

そんな時、ガバナー会、東日本大震災被災者支援委員会が立ちあがり、各クラブに支援策提出の依頼がありました。この支援策提出依頼を受け、当クラブの社会奉仕委員長が、鴨川市内にあります県立鴨川青年の家で、避難生活をされている、福島県からの、障害者施設の方々へ、支援を実施しようと立ち上がり、その熱意に打たれて、鴨川RC全体で邁進致しました。

その結果、当クラブの支援策が採用され、義捐金を頂き、現在支援を継続しているところでございます。この支援策に対して、お骨折りました、津留新世代奉仕委員長の所属されておられます貴クラブへ、経過報告と御礼を兼ねて、メイクアップしてみようと考え、本日お邪魔しました。

この避難生活をされている障害者施設は、福島第一原発から20km以内の警戒区域に該当する、福島県富岡町等で生活されていた、福島県福祉事業協会、管轄の、6施設の方々です。入所者は、6歳～67歳までの281名で、日常の生活を含め精神的なケアにあたる90名の職員と、障害者に関する専門的な資格を有する、ボランティア約30名程の協力を得て、避難生活を送られております。入所者も職員も、避難生活を送る家族から離れて、二重生活を余儀なくされ、故郷から遠く離れた慣れない地で、予算を始め厳しい制約の下での避難生活となり、中でも紙オムツや芯無しトイレトーパー、洗剤やシャンプー等、生活物資が日々大量に必要な為、調達に苦労されておられました。このご苦労を、少しでも緩和するべく、お手伝いができればと思ひました。

私も視察に行かせて頂きましたが、設備が整った通常の施設でも、タダでさえ大変なお仕事なのに、今の生活は輪をかけて、大変を通り越しております。入所者もさることながら、職員の方々のご苦労やストレスは、想像を絶するものがあり、もう心中をお察しするしかありませんでした。

この支援策に、寛大なるご理解を頂き、又、迅速なご対応を頂きました事に、正直なところ、驚きと共に、あらためてロータリーの素晴らしさ、奥の深さを、垣間見る事ができました。

支援先の皆様から、感謝の言葉を頂き、又、多くのロータリアンからバックアップを頂いた事に、ただただ感激・感動している次第でございます。今現在、素直に心の底から有難う、何事にも感謝の気持ちが、溢れているところです。

まだロータリー歴でも、人生においても、未熟者であり、又、ロータリーの難しい事は理解不足でも、ロータリークラブに入会してから、自分の中で少し変化が出てきた様な気がします。

それは、職業柄、多くの方々、お客様やお取引先の方々、行政関係者等、種々様々な方々と接する機会が、数多くありますが、初対面の方々だと、どうしても構えてしまう、気心が知れるまで、かなりの時間を有しますが、ロータリアンの方々と接する時は、志を一にしている仲間達という事もあって、構える事も無く、又、お話をさせて頂いても、その方の考え方や生き方、人生観等を、素直な気持ちで聞く事ができ、小さな事がらでも、素直に感動・感心ができる様になりました。他の人と話をしている、自分かひねくれている、からかもしれませんが、上辺だけの言葉で、腹の中では違う事を考えて、いるのではないかと、思ったりしてしましますが、ロータリアンとは、それがいつのまにか無い事に、この頃気が付きました。

何かそこに、言葉では言い表せない、ロータリーの素晴らしい所、本質があるのではないかと、思う様になってきました。ロータリー道としては、少し違ふよと、お叱りを受けるかもしれませんが、自分はその、ロータリーの魅力を見出しつつ、あるのかもしれない。

大変な事が多い会長職ではありますが、会員の皆さんに支えられ、又、多くのロータリアンの応援の下、微力ながら自分なりに、精一杯努めて参りたいと、思っております。

この度の件、あらためて御礼申し上げますと共に、これからもご指導ご鞭撻を、お願い申し上げます。本日は、誠に有難うございました。

お客様挨拶



鴨川 R.C 幹事 羽鳥 鋭一 様

幸せの黄色いてるぼう



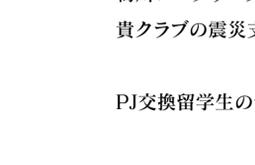
わたしは、観光土産の卸を職業としております。皆さんも大変ご苦労されたと思いますが、3/11の大震災により観光地も大打撃を受けわたしも会社をどう存続させていけば良いのか悩みました。そんな時、ふと観光地復興のシンボルを作り、全国のお土産物屋さんで販売したらどうかと思いついたのです。そのシンボルをてるてる坊主に託し、開発を進めました。色は「希望に満ちた明るい黄色」、商品名を「幸せの黄色いてるぼう」。

現在、全国のお土産物屋さん観光地を応援してくれる方たちにより、全国各地で販売をしていただいております。観光地から元気を、観光地を元気にと5/1に発売し、現在の販売数約30万個、義援金については1000万円を超える額を、日本赤十字社に納めることが出来ました。これからも継続していきたいと考えています。てるてる坊主は明日の天気を祈りますが、このてるぼうは、みんなの心の晴れを祈っています。皆さんにも可愛がっていただけたら幸いです。

委員会報告



宮地国際奉仕委員長
 先週25日(金曜日)6時過ぎに成田にPJ交換留学生が無事に到着致しました。
 今回のホストファミリーは 津留会員、平野会員、箕輪会員
 をお願いすることとなりました。 よろしくお願い致します。



篠田国際交流委員長
 PJ交換留学生の紹介ほか進行役の篠田君

メインプログラム

PJ 交換留学生のスピーチ

Than Sue Gin

Lim Hui Lei

Ariff Jazzmi Azmi

Hamish Mark John

Hamish Mark John

Mery.X'mas 歌のプレゼント

パフォーマンス

お土産交換

PJ から

市原 R.C から

トピックス

深まり行く秋

セントレジャー市原

ニコニコ・Sorry ボックス

1. 齊藤会長・山本幹事
 鴨川ロータリークラブの皆さんようこそお越しくださいました。
 貴クラブの震災支援活動に対して敬意を表します。

PJ交換留学生の皆さん残りの日本滞在を十分楽しんでください

出席報告 前々回 77.2% 本日出席 32名 欠席 12名 出席率 72.0%